タセくん

たんせレイクニュース

2026. 9月号

田瀬ダムだより No.201

東和小学校５年生　理科授業

９月18日(金)田瀬ダム流域の東和小学校５年生の理科授業において「過去の災害地域の取り組みについて考えよう」をテーマに田瀬ダム管理支所が支援として「ダムの役割」や「地域の取り組み」等について紹介しました。



ダムに関わる写真から「ダムの役割」を考えました



写真についてアドバイスする田瀬ダム管理支所長



田瀬ダムが行っている地域の取り組みについて説明

田瀬ダム管理支所では人材育成支援として若手職員の技術力向上に資する取り組みを実施しています。



若手技術職員 短期研修

９月８日(火)、短期研修として、岩手河川国道事務所等の若手職員８名が田瀬ダム技術支援見学会を体験しました。田瀬ダムの特徴であるコンクリートの基礎知識やコンクリートの品質確保について座学と工場見学「昭和コンクリート工業(株)」を実施し、理解を深めました。



三陸国道事務所 若手研修

９月10日(木)、三陸国道事務所の若手職員６名が田瀬ダムに来所し、品質確保について学びました。基礎技術から現場で実践可能な技術を学習し、工場見学「(有)宮守生コン、前田製管(株)」では品質確保の意義を再確認しました。







【水質保全】の取り組み

田瀬ダムでは、アオコ増殖抑制と水質への影響を最小化するために『水質保全装置(水中に空気を送りダム湖の水を循環させる装置)』を配備し、６月より取り組んできました。

8月13日から貯水池監視の取り組みを更に強化するとともに「水質保全装置」も、より一層効果を高める稼働を開始して、引き続き水質保全に努めています。

■水質保全装置の運用計画

1. 運転期間：　令和8年6月1日(月)～10月30日(金)【予定】
2. 運転方法：　8月13日から装置2基に送気量を全集中させ、循環効果をより一層高める稼働を開始
3. 監視体制：　巡視頻度や水質調査など監視体制を強化

項目	6月1日～	7月21日～	8月13日～	主な内容
ダム湖巡視	2回/月	2回/週	2回/週	目視、フィルターによる確認
水質自動監視	常時	常時	常時	水温、pHなど
定期水質調査	1回/月	1回/月	1回/月	pH、植物プランクトンなど
臨時水質調査	－	2回程度	－	発生直後、14日後を目安に実施予定 pH、植物プランクトンなど
詳細水質調査	－	－	1回/週	pH、植物プランクトンなど



水質保全装置（曝気装置）

維持工事の安全パトロール

現在、維持工事を行う業者、地域の守り手として重要な役割を担っています。

季節も変化し、今後はより一層、現場条件が厳しくなる事から、北上川ダム統合管理事務所事故防止対策委員会の取組の一環として、建設業における労働災害防止を目的として、９月15日(火)に発注者と施工社が合同で安全パトロールを行いました。パトロール実施後には、施工社から現場の《生の声》を伺い、意見交換によって共通認識を図りました。







農業用水に関わる取水について

令和８年度も灌漑に必要とされる農業用水の取水が９月上旬に無事終了しました。豊作に期待したいです。

田瀬湖貯水池の水位について

例年７月１日～９月３０日までは、洪水期における貯水池の洪水貯留準備水位（標高196.5m）として運用してきました。（※最高貯水位　標高215.0m）

１０月から年末に向けて、今後は、田瀬湖の水位が上昇（標高210m程度）していきます。

引き続き、適切な貯水池の水位管理に努めてまいります。



右の写真は、田瀬ダム管理支所付近に羽化したばかりの蝉がいるのを教えてもらい、撮ったものです。
蝉は羽化直後、このような淡い緑色をしているそうです。自然の中にはまだまだ知らない発見がありそうです。(M)



発行　北上川ダム統合管理事務所
田瀬ダム管理支所
〒 028-0123　岩手県花巻市東和町田瀬39-1-3
TEL.0198-44-5211　FAX.0198-44-5752